

## 事務事業評価調書

事務事業名	環境影響評価事務事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成10年	改正内容	対象事業の見直し、環境影響評価の手続きの充実、環境コミュニケーションの方法の改善											
(2) 直近の改正	平成24年													
(3) 根拠法令等	環境影響評価法、大阪府環境影響評価条例、吹田市環境まちづくり影響評価条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	一定規模以上の事業を行おうとする事業者											
	目標(どういう状態にしたいのか)	環境の保全及び良好な環境の保全のための効果的な取組を推進												
	結果(どのような効果が得られるのか)	持続可能なまちづくりの推進												
(7) 事業概要	一定規模以上の事業の実施に先立ち、事業者が環境への影響について調査・予測及び評価を行った結果を公開し、住民意見や学識経験者から構成される審査会による科学的な審査及びこれらを踏まえた市長意見を勧告し、環境の保全及び創造のための取組を検討、実施するための制度です。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		689	262	588	482	586							
	人件費	職員数	人	1.50	1.50	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	12,528	12,059	16,340	15,800	16,104						
	総事業費(A+B)		13,217	12,321	16,928	16,282	16,690							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		13,217	12,321	16,928	16,282	16,690							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		13,217	12,321	16,928	16,282	16,690						
財源計(C+D)		13,217	12,321	16,928	16,282	16,690								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	環境まちづくり影響評価条例に基づき、事業者に対して指導・誘導を行う。			目標	事後調査計画書に記載した内容が正しく事業に反映されること。
	②	成果内容	環境まちづくり影響評価条例の手続きを経ることにより形成された市の意見内容が正しく事業に反映されること。			達成状況	概ね反映されている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、一定規模以上の事業の実施に先立ち、事業者自らが環境への影響を予測・評価し、環境の保全及び創造のための取り組みを検討・実施するための制度を運用するものであり、本市のまちづくりにおいて、重要な役割を果たしています。</p> <p>本事業を実施するための費用としては、審査会の運営、住民等の意見書のとりまとめ等の制度運用に係る人件費が大半を占めますが、本事業の効果である、適正に環境配慮され持続可能な都市環境の享受は、現在及び将来の市民にとってニーズの高いものであり、本市のまちづくりに対する責務として継続すべき事業であると考えます。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境影響評価事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	00626				

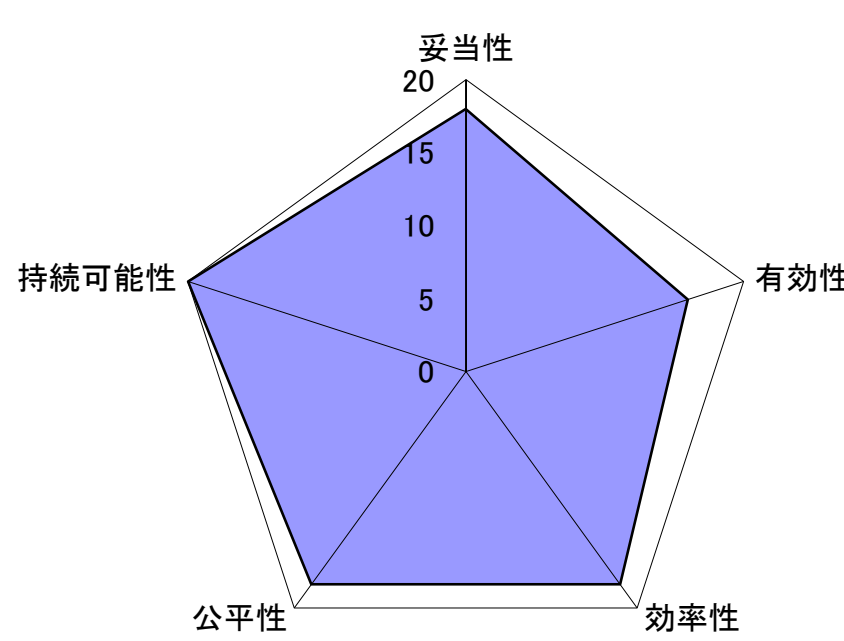
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	00626
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>住民にとって関心の高い大規模な開発事業に対して、意見交換会等により住民は環境の保全等の観点から意見を述べる機会が確保されています。また、事業者は、計画の初期段階での手続きであることから、住民意見・市長意見を受けての計画の変更も比較的容易であり、本条例により環境コミュニケーションを図ることで、その後の手続きを円滑に進めることが可能になります。したがって、住民、事業者、行政にとってメリットのある制度といえます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	環境マネジメントシステム運用事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	実績やデータの更新及び更なる取組の推進											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	「地球温暖化対策の推進に関する法律」「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」他													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市の事務事業											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市の事務事業における環境配慮の推進												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	温室効果ガス排出量の削減												
(7) 事業概要	ISO14001の運用で培ったノウハウを基盤とした本市独自の環境マネジメントシステムであり、地球温暖化対策の推進に関する法律で策定を義務付けられている地方公共団体実行計画(吹田市役所エコオフィスプラン)に基づくものです。市の事務事業における環境配慮を徹底するため、職場ごとに省エネルギー省資源に関する目標を設定し自主的に取り組み、全庁的に内部環境監査を実施することを通じて、職員の更なる環境意識の向上を図るとともに、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量削減を進めます。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		110	72	95	95	95							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900							
	総事業費(A+B)		8,462	8,111	8,265	7,995	8,147							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		8,462	8,111	8,265	7,995							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		8,462	8,111	8,265	7,995							
財源計(C+D)		8,462	8,111	8,265	7,995	8,147								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 環境政策室主催の職員研修への述べ参加者数	目標値	(単位:人)	300.00	300.00	/
			実績値	(単位:人)	262.00	206.00	
		達成度(%)		87.3	68.7		
	目標値の積算方法 過去の実績による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	30.96	40.12		
			一般財源(単位:千円)	30.96	40.12		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	目標値	(単位:t-CO <sub>2</sub> )	75,800.00	75,000.00
	実績値			(単位:t-CO <sub>2</sub> )	81,000.00	0.00	
	達成度(%)		106.9	0.0			
	目標値の積算方法 「大阪府地球温暖化の防止等に関する条例」の届出に基づく (平成27年度目標値より排出係数変更)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.10	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.10	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標				
	②	成果内容	達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本市では、第2次環境基本計画における目標の一つである「エネルギーを適正に利用できる低炭素社会への転換」を実現するためのアクションプランとして、平成22年度に「地球温暖化対策新実行計画」を策定し、その重点施策の一つとして「吹田市役所エコオフィスプラン」を位置づけています。また、「エコオフィスプラン」は温対法において自治体に策定が義務付けられている実行計画にも該当します。</p> <p>本市が市内における一大事業者として、環境に配慮した行動に率先して取り組むことで、市民・事業者の環境保全活動の促進を図り、市域における温室効果ガス削減を目指すため、第2次環境基本計画に掲げる削減目標に向け、継続して取り組むべき事業と考えます。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境マネジメントシステム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00629				

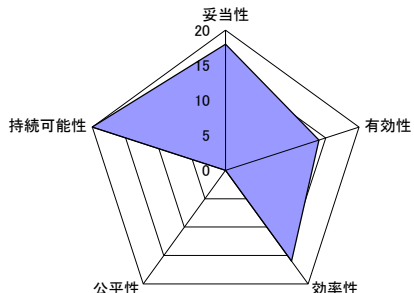
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00629
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	15
視点	評価結果														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>平成22年度にISO14001の認証を返上し、事業費(審査費用)の削減を図った上で、各職場が取り組みやすい全庁的な環境マネジメントシステムへと移行しました。PDCAサイクルを活用し、環境法令等の届出に必要なデータを含む様式により、各職場が進行管理を行うことで、照会事務の効率化を図っていますが、業務手法のさらなる改善を行い、継続的かつ効果的な温室効果ガス排出削減に努めたいと考えています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	環境審議会運営事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和47年度	改正 内容	吹田市環境基本条例の制定により、公害対策審議会から環境審議会に改定											
(2)	直近の改正	平成9年度													
(3)	根拠法令等	吹田市環境基本条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	環境基本計画並びに環境の保全及び創造に関する施策等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	総合的かつ計画的な推進												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	現在及び将来の市民の安全で健康かつ快適な生活の確保												
(7)	事業概要	環境審議会は、市長の諮問に応じ、(1)環境基本計画に関する事(2)環境の保全及び創造に関する基本的事項及び重要事項等を調査審議し答申します。また、環境の保全及び創造に関する事項について、市長に意見を述べます。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		406	219	305	101	254							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	0.50	0.50	0.80						
			総額(B)	千円	8,352	8,039	4,085	3,950	6,442						
		総事業費(A+B)		8,758	8,258	4,390	4,051	6,696							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		8,758	8,258	4,390	4,051	6,696							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			8,758	8,258	4,390	4,051	6,696								
財源計(C+D)		8,758	8,258	4,390	4,051	6,696									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	環境基本計画の進捗管理等			目標	環境施策に関する基本的事項等について、調査審議を行い、意見を述べる。
	②	成果内容	吹田市第2次環境基本計画に基づく各施策の進捗状況の把握及び評価、施策への反映を通じ、計画の着実な推進に寄与する。			達成状況	概ね達成している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		環境審議会は環境基本条例で設置が義務付けられており、事業の実施は必須であるため継続します。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00630				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00630
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	18	有効性	15	持続可能性	10	公平性	5	効率性	2
視点	評価点数														
妥当性	18														
有効性	15														
持続可能性	10														
公平性	5														
効率性	2														
(3)現状分析	<p>環境審議会は、環境基本計画の進捗管理をはじめ、環境の保全と創造に向けた市の様々な施策を審議検討する機関であり、環境基本条例で設置が義務付けられています。本審議会は効率的な運営を行っており、吹田市の環境行政の根幹の形成に大きく寄与しています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	環境啓発事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、吹田市環境基本条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民、学校、NPO団体、事業者、行政等の様々な主体											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	地域における環境保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境に配慮した行動やライフスタイルの確立、より良い環境づくりに向けた意識の高揚												
(7) 事業概要	環境教育・学習の場として、市主催の「すいた環境教育フェスタ」を開催しています。その来場者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立や、より良い環境づくりに向けた意識の高揚を図ります。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		400	282	400	329	350							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052							
	総事業費(A+B)		8,752	8,321	8,570	8,229	8,402							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		8,752	8,321	8,570	8,229							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		8,752	8,321	8,570	8,229							
財源計(C+D)		8,752	8,321	8,570	8,229	8,402								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	市民、事業者、行政で組織する運営委員会												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	来場者数	目標値	(単位:人)	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
			実績値	(単位:人)	592.00	728.00		
			達成度(%)		59.2	72.8		
	目標値の積算方法	実績を勘案して設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.06	11.67	
				一般財源(単位:千円)		14.06	11.67	
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
②		指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
	実績値		(単位:)	0.00	0.00			
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)					0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	毎年、多くの参加者があり、環境保全等に関する意識の向上が図られています。	達成状況	参加者の地球環境及び地域環境の保全活動に積極的に参加するなどの実践的な能力・態度の育成が図られています。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進しています。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00631				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境政策室	事務事業番号	00631
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民や事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加できる場を設け、低炭素型のライフスタイルや事業活動に転換することを促進しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

環境を軸とした成長を進める上で、環境保全活動や行政・企業・民間団体等の協働がますます重要になっています。国連の「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」の動きや、学校における環境教育の関心の高まりなどを踏まえ、自然との共生の哲学を活かし人間性豊かな人づくりにつながる環境教育をなお一層充実させる必要があります。



## 事務事業評価調書

事務事業名	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	別表より「古鉄・古銅等」を削除。「雑誌」の品目を「雑誌・雑紙」に変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	再生資源集団回収実施団体に対する報償金の支給に関する要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内の自治会等各種団体で古紙等の集団回収を定期的に行っている団体											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	ごみ減量と資源の有効利用、ごみ問題の意識向上のために報償金を支給												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	古紙等を資源として回収、有効利用することにより、ごみの減量、省資源、省エネルギー等の大きな効果をもたらすとともによりサイクル活動の推進を図ります。												
(7) 事業概要	再生資源の集団回収を促進し、ごみの減量と資源の有効利用、併せてごみ問題の意識向上を図るため、市内の自治会・こども会等の再生資源集団回収実施届出団体に対し、回収量1kgあたり7円の報償金を支給するものです。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		71,745	65,692	70,756	62,312	69,094							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10							
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900							
	総事業費(A+B)		80,097	73,731	78,926	70,212	77,952							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		80,097	73,731	78,926	70,212	77,952						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		80,097	73,731	78,926	70,212	77,952								
財源計(C+D)		80,097	73,731	78,926	70,212	77,952								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
			主な委託内容											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	再生資源集団回収実施団体数	目標値	(単位:団体)	462.00	461.00	464.00	
			実績値	(単位:団体)	460.00	463.00		
			達成度(%)		99.6	100.4		
	目標値の積算方法	前年度実績以上	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	160.28	152.23		
				一般財源(単位:千円)	160.28	152.23		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	再生資源回収量	目標値	(単位:トン)	12,610.00	12,975.00	9,686.00	
			実績値	(単位:トン)	9,360.02	8,876.89		
			達成度(%)		74.2	68.4		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.88	7.94		
				一般財源(単位:千円)	7.88	7.94		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		新聞や雑誌等の発行部数は減っているが、資源化可能物を徹底分別し有効利用するためには、回収実施団体を増やしていく必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00632				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00632
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>集団回収は年間約10,000tの回収量があります。資源ごみを全て行政で回収すると、破砕選別工場における処理費用は人件費を除いても約10円/kgかかります。また、破砕選別工場における資源保管スペースにも限りがあり、集団回収を行わなければ施設拡大に予算を割くこととなります。これらの理由から、集団回収を拡充する方が行政コスト削減に繋がると考えられます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	ごみ減量・再資源化啓発事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	手数料改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市民及び吹田市内で活動を行う事業者や団体等												
		目標(どういう状態にしたいのか)	ごみに対する市民等の自主活動の強化・拡大を図るため、ごみの減量・再資源化の啓発を行います。												
		結果(どのような効果が得られるのか)	ごみ減量及び資源の有効利用意識の向上に一定の効果をもたらします。												
(7)	事業概要	<p>三者協働(市民・事業者・行政)による協議会において、ごみ減量やライフスタイルの見直しにつながるレジ袋削減の取組みを行います。また、吹田市、豊中市、箕面市で協定を締結し、北摂各市にレジ袋の削減に賛同していただけるように呼びかけます。地域に密着した啓発活動のため廃棄物減量等推進員各地区連絡会にごみ減量・再資源化推進活動啓発業務を委託します。家庭から出る廃食用油を回収する拠点を拡大することにより、ごみの減量・資源のリサイクルについて促進を図るとともに啓発に努めます。多量排出事業者に対し、減量計画書にもとづき、ごみの資源化・減量について指導を行うと同時に研修会等を実施します。</p>													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		288	115	478	349	367							
		人件費	職員数	人	1.50	1.50	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	12,528	12,059	16,340	15,800	16,104						
		総事業費(A+B)		12,816	12,174	16,818	16,149	16,471							
		特定財源(C)		0	124	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	124	0	0	0						
		市負担(D)		12,816	12,050	16,818	16,149	16,471							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		60	0	0	0	0						
一般財源			12,756	12,050	16,818	16,149	16,471								
財源計(C+D)		12,816	12,174	16,818	16,149	16,471									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市廃棄物減量等推進員地区連絡会										
				②											
				③											
		主な委託内容		ごみ減量・再資源化推進活動啓発業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ごみ減量・再資源化啓発委託業務	目標値	(単位:地区数)	10.00	10.00	10.00	
			実績値	(単位:地区数)	6.00	8.00		
			達成度(%)		60.0	80.0		
	目標値の積算方法	予算数値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,029.00	2,086.13	
				一般財源(単位:千円)		2,008.33	2,086.13	
	②	指標内容 環境施設見学会	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	3.00	
実績値			(単位:回)	0.00	3.00			
達成度(%)			0.0	100.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	5,563.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	5,563.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収量	目標値	(単位:t)	112,528.00	109,556.00	113,409.00	
			実績値	(単位:t)	114,081.56	113,508.10		
			達成度(%)		101.4	103.6		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.11	0.15	
				一般財源(単位:千円)		0.11	0.15	
	②	指標内容 再生資源集団回収量	目標値	(単位:t)	12,610.00	12,975.00	12,975.00	
			実績値	(単位:t)	9,360.02	8,876.89		
			達成度(%)		74.2	68.4		
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.30	1.88	
	一般財源(単位:千円)				1.29	1.88		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上を図るためには、啓発事業の積極的な取組が必要です。</p> <p>吹田らしいコミュニティ活動を展開し環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、平成29年3月に吹田市一般廃棄物処理基本計画後期改訂版を策定しました。この計画に基づき、市民・飲食店と連携した食べきり運動やスーパーと連携した食品ロス削減の取組みの展開、フードドライブ活動の普及に努めます。また、雑がみのリサイクル率向上に向け、多量排出占有者に対する情報提供の充実や啓発に努めるとともに、廃棄物減量推進委員と連携して、市民への雑がみ分別排出ルールを浸透していきます。</p> <p>さらに、平成30年4月の北摂地域でのレジ袋無料配布中止協定締結に向け、事業者、北摂自治体間で協議を重ね、さらなるマイバッグ持参促進を図ります。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00633				

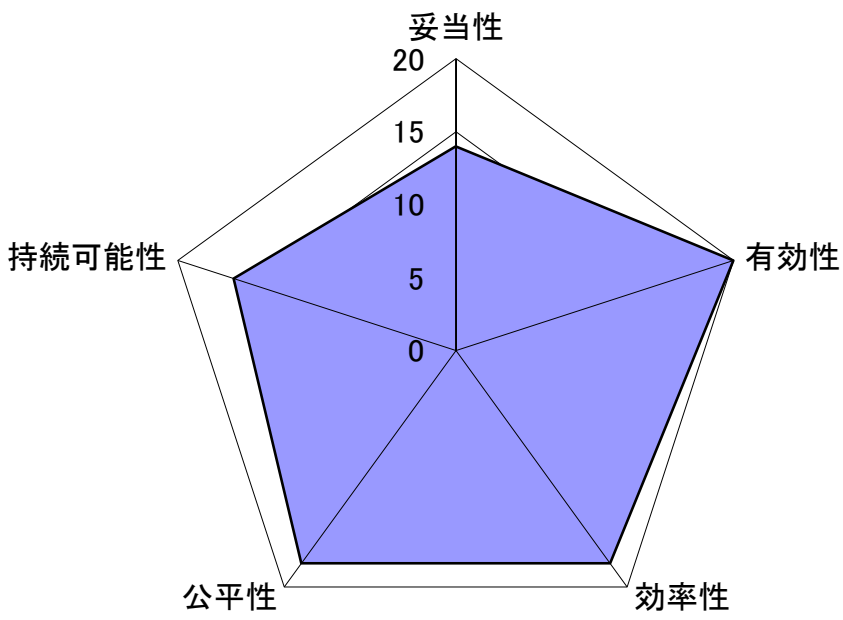
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>86</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00633
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>啓発活動を推進することにより、市民、事業者のごみ減量・資源化に対する意識の向上が図られ、成果としてごみ総排出量が減量傾向にあります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	廃棄物減量等推進員事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成7年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	一般廃棄物の減量と適正な処理の推進に理解と熱意を有する市民のうち市長が委嘱する者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	一般廃棄物の減量のための施策への協力、市民の自主的活動の推進等の活動を行います。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ごみの適正な排出の指導及び啓発活動を行うことにより、廃棄物の適正な処理を促し、資源化対策の推進を図ります。												
(7) 事業概要	地域での分別収集の指導・啓発などの自主的活動やごみの減量・再資源化の取り組みを実践する推進員を育成し、市のごみ減量施策に協力していただくことにより地域住民のごみ問題の意識向上を図ります。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		571	336	397	316	397							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052							
	総事業費(A+B)		8,923	8,375	8,567	8,216	8,449							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		8,923	8,375	8,567	8,216	8,449						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		8,923	8,375	8,567	8,216	8,449						
財源計(C+D)		8,923	8,375	8,567	8,216	8,449								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 廃棄物減量等推進員委嘱者数	目標値	(単位:人)	500.00	500.00	500.00
			実績値	(単位:人)	433.00	422.00	
			達成度(%)		86.6	84.4	
	目標値の積算方法	廃棄物減量等推進員委嘱者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	19.34	20.11	
				一般財源(単位:千円)	19.34	20.11	
	(2) 成果指標	②	指標内容 廃棄物減量等推進員ブロック別研修会参加者数	目標値	(単位:人)	433.00	422.00
実績値				(単位:人)	106.00	68.00	
達成度(%)				24.5	16.1		
目標値の積算方法		廃棄物減量等推進員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	79.01	124.79	
				一般財源(単位:千円)	79.01	124.79	
(3) が困難な場合		①	指標内容 ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収	目標値	(単位:t)	112,528.00	109,556.00
	実績値			(単位:t)	114,081.56	113,508.10	
	達成度(%)			101.4	103.6		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.07	0.07	
				一般財源(単位:千円)	0.07	0.07	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>ごみ減量・再資源化に関する市民の自発的な行動を促進していくためには、廃棄物減量等推進員事業を継続し、各推進員が、地域でのごみ減量・再資源化の指導や啓発を適切に実施していくことが必要です。平成26年度行政評価委員会での改善見直しの結果を受け、廃棄物推進員事業の活性化のため活動内容等の見直しを図っています。</p> <p>また、各地区において継続的な活動ができるよう、将来的に地区へ依頼する方式も検討していきます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物減量等推進員事業	事業区分	その他
事務事業番号	00634				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00634
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物減量等推進員制度は、市民のごみ減量・再資源化に対する意識向上を図る重要な施策と考えていますが、自治会役員の任期の都合上、活動が1年間となるケースや、周囲の協力が得られず活動のやりがいを見いだせないケース、また自治会での認知度の低さの問題等があります。 活動メニューを見直し、各地区単位で適正な運営が図れるよう取り組んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	資源リサイクルセンター事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成4年度	改正 内容	指定管理者選定委員会の設置											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市資源リサイクルセンター条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内外からの来館者(年齢性別を問わない)、市民団体、行政、企業												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民工房や教室・講座、イベント開催などにより、環境を守る意識と行動を啓発する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	廃棄物の減量・再資源化並びに再生利用を促進し、快適な生活環境づくりと循環型社会の形成を図る。												
(7)	事業概要	(公財)千里リサイクルプラザを指定管理者に指定し、吹田市資源リサイクルセンターを拠点として、ごみの発生抑制を基調とした循環型社会を構築するため、市民工房の運営・実践教室や講座の開催など、多様な活動を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	06	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		50,999	49,752	50,536	50,524	50,468							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
		総事業費(A+B)		59,351	57,791	58,706	58,424	58,520							
		特定財源(C)		0	375	0	334	373							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	375	0	334	373							
		市負担(D)		59,351	57,416	58,706	58,090	58,147							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	181	0	334	0	0							
一般財源	59,170		57,416	58,372	58,090	58,147									
財源計(C+D)		59,351	57,791	58,706	58,424	58,520									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公財)千里リサイクルプラザ										
				②											
				③											
		主な委託内容		市民工房運営、教室・講座開催、施設の管理											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	視察・工房見学者	目標値	(単位:人)	13,000.00	14,200.00	13,600.00
			実績値	(単位:人)	11,782.00	11,966.00	/	
		達成度(%)			90.6	84.3		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績の1割増	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.91		4.91
				一般財源(単位:千円)		4.87	4.88	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	ごみの排出量 ごみの発生量(廃食用油含む)+集団回収量	目標値	(単位:t)	112,528.00	109,556.00	113,409.00
			実績値	(単位:t)	114,081.56	113,508.10	/	
		達成度(%)			101.4	103.6		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.51		0.52
				一般財源(単位:千円)		0.50	0.51	
	②	指標内容	再生資源集団回収量	目標値	(単位:t)	12,610.00	12,975.00	12,975.00
実績値			(単位:t)	9,360.02	0.00	/		
達成度(%)			74.2	0.0				
目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.17		0.00	
			一般財源(単位:千円)		6.13	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>活動指標の視察・工房見学者数及び成果指標のごみの排出量及び再生資源集団回収量は、若干の増減はあるもののほぼ横ばいになっています。費用対効果の面から考えると、事業経費は、平成27年度より「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進」に関する啓発事業を実施した関係で増加していますが、その他の増加はなく適正と考えています。</p> <p>認知度の向上、集客力の強化、賛同者の獲得、行動への啓発を基本方針とする中期計画を(公財)千里リサイクルプラザが平成29年3月に策定され、具現化に向け継続して取り組むことが必要です。例えば海外視察団を積極的に受け入れる等視察者数の増加に取り組む等中期計画の具現化に向け進捗確認を行います。また、事業内容に関しては、本市の委託事業と(公財)千里リサイクルプラザの自主事業の明確化を行う等精査を行います。</p>					

# 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00635				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	00635
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度(2015年度)より、「地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築・推進」に関する啓発事業の市民向け連続セミナー等を開催しています。なお、当事業に係る予算は1,600,000円(消費税は除く。)を上限としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市資源リサイクルセンターが開設されて25年が経過し、近年、家庭系のごみ排出量も年々減少しており、同センターが取り組んできたごみ減量、再資源化及び再生利用に関する様々な啓発事業もひとつの要素であると思われます。また、循環型社会の形成にも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年度に「廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業基本方針」を決定しました。その中において、資源リサイクルセンターの今後の事業について、啓発内容を地球温暖化といったことへも拡大・シフトすること、幅広い年齢層の参加促進を図ることとしています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成5年度		改正内容	なし										
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第1項 吹田市積立基金条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
			範囲等	廃棄物処理施設の整備資金積立て											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	安定したごみ処理の確保、環境負荷の軽減を図るための事業財源への充当												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	安定したごみ処理の確保、ごみの減量と資源回収の推進に係る事業財源の確保と軽減												
(7)	事業概要	廃棄物処理施設である、資源循環エネルギーセンター及び破砕選別工場の建設及び大規模修繕等に計画的に対応する必要があるため、基金を積立てます。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	07	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	14	408	408	408							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	2,506	2,412	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		2,506	2,426	2,042	1,988	2,019							
		特定財源(C)		0	14	408	408	408							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	14	408	408	408							
		市負担(D)		2,506	2,412	1,634	1,580	1,611							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
			一般財源	2,506	2,412	1,634	1,580	1,611							
財源計(C+D)		2,506	2,426	2,042	1,988	2,019									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施		委託先	①										
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託			②										
					③										
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		主な委託内容											
				交付先	①										
		②													
③															
<input checked="" type="checkbox"/> その他		内容		預金金利の積立てや会計室による債権の購入など。											

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が指標で場合を示す	①	活動内容	廃棄物処理施設の整備費に充当する整備基金へ毎年度金利等を積み立てる。(銀行への預金や債券購入等基金の運用については、会計室が実施)		目標	廃棄物処理施設整備基金への積み立て	
	②	成果内容	大規模修繕に必要な経費は、国の交付金と一般財源で賄っていたが、積み立てた基金を繰り入れることで、世代間の費用負担の公平性を図る。		達成状況	破碎選別工場延命事業への財源充当	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		廃棄物処理施設の建設に係る莫大な費用は、各世代が応分に負担する必要があることから、計画的な資金計画が求められます。今後、廃棄物処理施設の建替え計画等が策定されれば、国等の交付金や起債も含めた綿密な資金計画を立てるとともに、計画的な積立を検討します。				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00636				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	00636
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物処理施設整備に要する莫大な費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立が求められます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	環境情報データ収集・解析事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正 内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画改訂版							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市域全体					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市域全体の熱環境マップを作成し、地域別データを把握する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	熱環境データを活用し、改善策を検討・実施することで、快適で持続可能な都市を実現する。						
(7) 事業概要	重点的にヒートアイランド対策が必要な地域を指定し、開発事業者に対策の実施を指導するため、熱環境マップを作成し、その施策の成果を把握するため、継続的に市域の熱環境の状況を調査します。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	なし				
			②					
			③					
	主な委託内容		なし					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	なし	なし	0.00	0.00	0.00	
			目標値	(単位:なし)	0.00	0.00		
		実績値	(単位:なし)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
	②	指標内容	なし	なし	0.00	0.00	0.00	
			目標値	(単位:なし)	0.00	0.00		
		実績値	(単位:なし)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
②	指標内容	なし	なし	0.00	0.00	0.00		
		目標値	(単位:なし)	0.00	0.00			
	実績値	(単位:なし)	0.00	0.00				
	達成度(%)		0.0	0.0				
(3) が困難な場合	①	活動内容	市域での継続的な熱環境の状況把握			目標	都市の熱環境が改善された快適で持続可能な都市の実現	
	②	成果内容	なし			達成状況	なし	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		環境先進性の高いまちづくりを目指すため、今後も継続的にデータの集積・解析を行っていく必要があります。					

# 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境情報データ収集・解析事業	事業区分	その他
事務事業番号	01300				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01300
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成23年度に作製した熱環境マップを基に、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】を通じて開発事業者等へ指導・誘導を実施しており、市内のヒートアイランドの状況について継続的に把握を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	まちなか水族館事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成16年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	02	細節	21	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市内在住、在勤、在学の人						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	水辺の生き物の展示やまちなか水族館市民ボランティアの活動を通じて、市民の水辺環境の保全及び生物多様性に対する意識の向上を図ります。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	水辺環境の保全、生物多様性の保全に貢献							
(7)	事業概要	本庁舎など市民が多く集まる公共空間に水辺の生き物を展示した水槽を設置し、生き物の潤いを演出するとともに、市民に向けた生物多様性の啓発を図ります。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 まちなか水族館市民ボランティア活動回数	目標値	(単位:回)	50.00	50.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	51.00	53.00		
			達成度(%)		102.0	106.0		
	目標値の積算方法	週一回の清掃活動	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 まちなか水族館市民ボランティア数	目標値	(単位:人)	20.00	20.00	0.00
	実績値			(単位:人)	15.00	20.00		
	達成度(%)			75.0	100.0			
	目標値の積算方法	登録人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市民が集まる空間に在来生態系を再現した水槽を展示することは、生物多様性の保全について考えるきっかけとなり、来庁者にも好評であることから、引き続き取組をすすめていきます。</p> <p>また、まちなか水族館事業にとどまらず、能勢町と連携して取り組む「地域循環共生圏構築検討業務」(環境省採択事業)や、生物多様性啓発冊子の作成等、幅広く生物多様性保全のための事業に取り組んでいきます。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	まちなか水族館事業	事業区分	その他
事務事業番号	01301				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01301
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市役所を訪れた市民が、よく水槽の前で庁内移動の足を止めて眺めている。特に子ども連れの方には好評である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	12	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	12														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>毎週一回の清掃活動については、市民ボランティアと企業ボランティアで実施しています。しかしながら、水槽管理のためのわずかな費用さえ市から支出されない状況は、ボランティアの方々の士気を著しく阻害するものであり、ボランティアの人数も減少傾向にあります。今後、ボランティア主体の事業を継続するためにも、より積極的に市が関与する姿勢を見せる必要があります。</p> <p>水槽の管理にももう少し費用を支出して展示内容を充実させ、市民の目を一層引き付けることで、本事業の目的である生物多様性啓発の効果を高めることが可能になります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

### 事務事業評価調書

事務事業名	環境まちづくりガイドライン運用事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

#### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画改訂版						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 05	環境を守り育てるまちづくり	節 03	細節 30			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	市民・事業者等					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民・事業者等に対する啓発及び環境に配慮する行動への誘導。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地球環境に配慮した行動を普及促進することにより、地球環境保全の推進を図り、持続可能な社会の実現。					
(7) 事業概要	主に環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】において、市内の開発事業者に対して、建設事業の構想段階で検討すべき環境配慮項目について、指導・誘導を行います。						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	0	0	0
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0	
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(4) 総合評価	①	活動内容	環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】に基づき、事業者に対して、指導・誘導を行う。		目標	環境まちづくり方針で記載した内容が正しく事業に反映されること。	
	②	成果内容	環境まちづくり方針に係る協議により取り組まれることとなった環境取組が正しく事業に反映されること。		達成状況	概ね反映されている。	
		今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明	【開発・建築版】を用いて、市内の開発事業者に対して事業の構想段階で検討すべき環境への取組項目(ヒートアイランド対策や省エネルギー、緑化等)について、指導・誘導を行い持続可能な環境まちづくりを目指しています。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境まちづくりガイドライン運用事業	事業区分	その他
事務事業番号	01302				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01302
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>主に【開発・建築版】を用いて、市内での開発等を行う事業者に対して、環境への配慮事項98項目について、環境まちづくり方針(案)、同方針及び同実施報告書の提出を求めており、再生可能エネルギーの導入・省エネルギー機器の導入・ヒートアイランド対策の実施・緑化の推進等の誘導を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	環境白書作成事業(一般事務事業)				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	公害白書から環境白書に改名					
(2)	直近の改正	平成9年度							
(3)	根拠法令等	環境基本条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	一般市民						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	毎年、本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ公表します。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進							
(7)	事業概要	本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を環境白書で公表します。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		450	323	433	316	389	
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,086	3,950	4,026
		総事業費(A+B)		4,626	4,343	4,519	4,266	4,415	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		4,626	4,343	4,519	4,266	4,415	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			4,626	4,343	4,519	4,266	4,415		
財源計(C+D)		4,626	4,343	4,519	4,266	4,415			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	発行部数	目標値	(単位:部)	500.00	500.00	0.00	
			実績値	(単位:部)	600.00	600.00		
			達成度(%)		120.0	120.0		
	目標値の積算方法	発行予定数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.54	0.53	
				一般財源(単位:千円)		0.54	0.53	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
③	活動内容	本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ、公表します。			目標	毎年、本市の環境の状況を環境白書に取りまとめ、公表する。		
		環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進			達成状況	環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画の推進		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は環境基本条例に基づき、本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況について環境白書として公表するものです。					

# 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	環境白書作成事業(一般事務事業)	事業区分	その他
事務事業番号	01305				

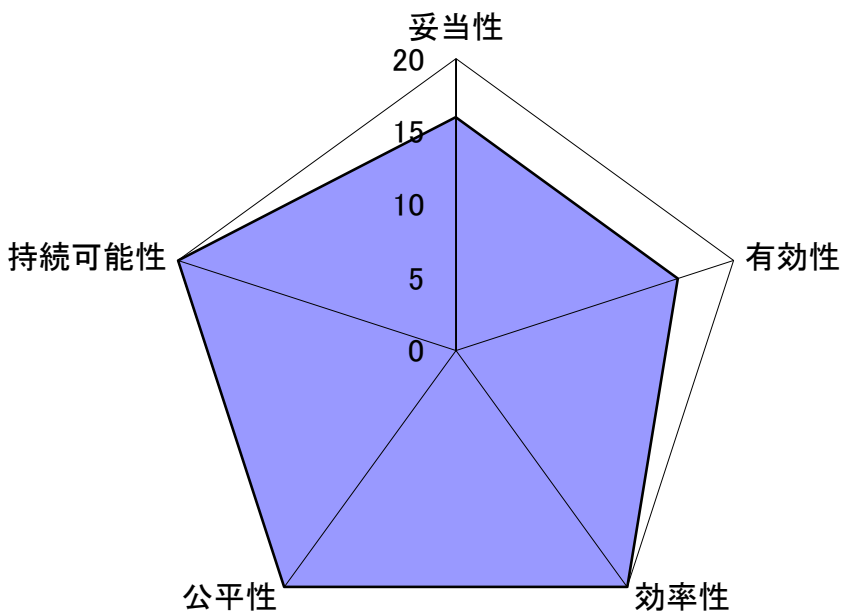
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01305
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境白書は毎年、本市の環境の状況、環境の保全及び創造に関する施策の実施状況等を取りまとめ、冊子及びホームページにおいて、公表しています。また、カラー写真及び図など多く使用し、市民にとって読みやすくするため、毎年改善を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国及び大阪府は毎年継続して、環境白書を発行しています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市環境基本計画見直し事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例							
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市第2次環境基本計画(環境の保全と創造に関連する施策及び事業)					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	社会情勢や環境の変化などをふまえた実効性のある計画とします。						
	環境全般に関する本市の方針の確認、検討がなされ、基礎自治体としての役割が明確化になり、環境の保全と創造に関連する施策及び事業が効果的に推進され、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図ります。							
(7) 事業概要	吹田市環境基本計画を、社会情勢や環境の変化などをふまえ、概ね5年ごとに見直しを行います。							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先	①				
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託			②				
				③				
			主な委託内容					
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①				
			②					
			③					
<input checked="" type="checkbox"/> その他		内容	今年度実施なし					

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	なし	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0		0.0
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0	
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0		0.0
(3) が指標で場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	見直しに際して、庁内検討会議及び環境施策調整推進会議により案を作成するとともに、環境審議会による審議、案に対するパブリックコメントを行い、改訂版に反映しました。			達成状況	平成26年3月に改訂版を策定しました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>庁内検討会議や環境施策調整推進会議での検討、環境審議会での審議、パブリックコメントなど、計画の内容だけでなくそのプロセスまで、今後、効果的に進行管理が行えるよう配慮しました。また、内容についても、社会情勢や環境の変化、本市の課題に対応した計画に見直すことができました。妥当性や効率性など各視点について、事業の推進手法として適正であり、今後も継続していきます。</p> <p>計画の見直しという事業の性質から、次の検討や作業まで5年程度空いてしまうため、今回の手法において適正な点は引き継ぎ、検討し直す余地がある点については、更に検討して事業を進める必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	吹田市環境基本計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01306				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01306
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妥当性をはじめ各視点からの評価結果については、概ね適正です。実施の方向性や手法など、様々な検討が可能であると考えられることから、今後も、有効性や効率性の向上に取り組む余地があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	すいた環境サポーター養成講座運営事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	受講対象者をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とし、受講後は「すいた環境サポーター」として本市の環境活動に参加する人材を育成することを目的としています。											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市環境基本条例、吹田市第2次環境基本計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他								
	範囲等	環境活動に関心のある18歳以上の人(高校生を除く)で、市内在住在勤を問いません。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	それぞれの家庭や地域において環境教育を実践するとともに、本市の各種環境イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成すること。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境教育の推進。												
(7) 事業概要	「すいた環境サポーター養成講座」の受講者が、受講後、それぞれの家庭や地域、組織の中で環境教育を実践するとともに、「すいた環境サポーター」として登録し、各種イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成することを目的としています。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		714	706	909	747	814							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10							
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,858							
	総事業費(A+B)		9,066	8,745	9,079	8,647	9,672							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		9,066	8,745	9,079	8,647							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		9,066	8,745	9,079	8,647	9,672							
財源計(C+D)		9,066	8,745	9,079	8,647	9,672								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先	<input type="checkbox"/> 直接実施										
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			① 公募型プロポーザルにより決定										
				②										
			③											
			主な委託内容				講座内容の企画、講師への依頼、講座の運営							
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		①									
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 受講者数	目標値	(単位:人)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:人)	28.00	29.00	
		達成度(%)		93.3	96.7		
	目標値の積算方法 講座会場の収容人数と運営体制を勘案して算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	312.32	307.48		
			一般財源(単位:千円)	312.32	307.48		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 半分以上の受講を条件とした修了者数 ('すいた環境サポーター'登録数)	目標値	(単位:人)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:人)	20.00	13.00	
		達成度(%)		66.7	43.3		
	目標値の積算方法 募集定員である30名全員が修了するものとして算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	437.25	685.92		
			一般財源(単位:千円)	437.25	685.92		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、それぞれの家庭や地域で環境教育を実践するとともに、本市の各種環境イベントやボランティアの担い手として参画する人材を育成するための事業であり、環境教育の継続性を担保するうえで必要な事業です。受講対象者をシニア層に限定した「すいたシニア環境大学」とは異なり、18歳以上と幅を広げ実施していますが、学生や子育て世代の参加を誘導するのであれば、講座内容や曜日設定の工夫など、今後さらに検討していく必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	すいた環境サポーター養成講座運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01446				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01446
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、環境問題全般を網羅的に学ぶことができ、修了生は、それぞれの家庭や地域において環境教育を実践しています。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>妥当性に関して、教育現場や地域では環境教育サポーター人材に対するニーズはあるものの、受講者数が定員割れであり、講座内容や曜日設定について検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事業名称変更前の「すいたシニア環境大学運営事業」では、単独随意契約にて委託事業者を決定していましたが、講座内容も精査しながら幅広い世代に魅力的な講座となるよう、公募型プロポーザルで事業者を選定しています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地球温暖化対策新実行計画見直し事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度		改正 内容	なし										
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)		一部にチェックした場合はその説明											
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市地球温暖化対策新実行計画												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	社会情勢や環境の変化などをふまえた実効性のある計画とします。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市が掲げる目標の達成に向けて、市民や事業者等との連携・協働のもとで温暖化対策に関する施策及び計画を推進します。												
(7)	事業概要	吹田市地球温暖化対策新実行計画を、社会情勢や環境の変化などを踏まえ、概ね5年ごとにて中間見直しを行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	99	小事業	99
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,661	3,456	0	0	0							
		人件費	職員数	人	1.20	1.20	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	10,023	9,647	0	0	0						
		総事業費(A+B)		13,684	13,103	0	0	0							
		(内訳)	特定財源(C)		0	10	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	10	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		13,684	13,093	0	0	0						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			13,684	13,093	0	0	0								
財源計(C+D)		13,684	13,103	0	0	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	今年度実施なし													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)				0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)				0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)				0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)				0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	見直しに際して、庁内検討会議及び環境施策調整推進会議により案を作成するとともに、環境審議会による審議、案に対するパブリックコメントを行い、改訂版に反映しました。			達成状況	平成28年3月に改訂版を策定しました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		社会経済や関連する法制度の動向、本市を取り巻く情勢の変化、対策技術の向上など、計画を取り巻く背景の変化に対応するため、今後も定期的に計画を見直す必要があります。今後、計画を実効性の高いものにするため、市民・事業者に対する有効な取組の実施について、検討を進めます。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	地球温暖化対策新実行計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01447				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01447
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	平成27年度に策定した改訂版を基に、地球温暖化対策を推進しています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)12月にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択されました。このことを受け、平成28年5月に地球温暖化対策計画が閣議決定されています。この計画の中で、地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題であり、最も重要な環境問題の1つとされています。また、地球温暖化を防止することは、人類共通の課題とされています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	アジェンダ21すいた推進事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容	なし																	
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	なし																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
		範囲等	吹田市民、吹田市内事業者、市民団体、NPO団体																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	持続可能な社会の実現をめざす三者協働組織「アジェンダ21すいた」の推進																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地球環境の保全、持続可能な社会の構築																		
(7) 事業概要	持続可能な社会の実現に向け、市民、事業者、行政が協働し「吹田市第2次環境基本計画」を実践する組織である「アジェンダ21すいた」の取組の推進を図ります。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大	事	業	03	中	事	業	05	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		515	512	510	510	510													
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10													
		総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,858													
	総事業費(A+B)		8,867	8,551	8,680	8,410	9,368													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		8,867	8,551	8,680	8,410	9,368												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		8,867	8,551	8,680	8,410	9,368														
財源計(C+D)		8,867	8,551	8,680	8,410	9,368														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「アジェンダ21すいた」組織																
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 アジェンダ21すいた会員数	目標値	(単位:人)	120.00	120.00	120.00
			実績値	(単位:人)	76.00	71.00	
			達成度(%)		63.3	59.2	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	112.51	122.25	
			一般財源(単位:千円)	112.51	122.25		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 市域の年間温室効果ガス排出量	目標値	(単位:)	1,315.00	1,315.00	1,315.00
			実績値	(単位:)	1,884.00	2,232.00	
			達成度(%)		143.3	169.7	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.54	3.89	
			一般財源(単位:千円)	4.54	3.89		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>「アジェンダ21すいた」は、平成27年度から組織の目標を吹田市第二次環境基本計画(以下、「基本計画」)の推進としています。基本計画における3つの基本理念のうちのひとつである「市民、事業者、行政の協働で、持続可能な社会づくりを進める」ために、環境パートナーシップ組織としての「アジェンダ21すいた」は重要な役割を果たしています。</p> <p>市民によるエコ宣言、子ども版環境家計簿の推進など、市民や事業者のライフスタイルの転換などに寄与する具体的な事業を実施していることから、継続すべきと考えます。</p> <p>「アジェンダ21すいた」は、平成27年5月に設立10周年を迎えました。2015年に採択された地球温暖化防止のための国際的な枠組みであるパリ協定や、それに基づく日本の温室効果ガス削減目標など内外の新しい動きに対応し、活動の充実を図っていく必要があると認識しています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	アジェンダ21すいた推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	001448				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	001448
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「アジェンダ21すいた」は持続可能な社会を実現することを目標とした市民・事業者・行政の三者協働の組織であり、設立後11年が経過しました。平成27年度より、組織の目的を「アジェンダ21すいた(計画)」(平成26年度末をもって終了)の推進から、「吹田市第2次環境基本計画」の実践へと改正を行い、環境教育の実践など、より具体的な三者が連携した協働事業を進めているところですが、今後、事業の目的をより効果的に達成するために、組織の大幅な変革を含めた、さらなる活動の活性化を検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	大学省エネルギーワーキング事務事業				
担当部署	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正内容	吹田市地球温暖化対策新実行計画の見直しを行い、改訂版を策定した。					
(2) 直近の改正	平成27年							
(3) 根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画、吹田市地球温暖化対策新実行計画							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市内の大学・研究機関					
	目標 (どうい状態にしたいのか)	大学・研究機関における省エネルギーの推進						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)等に定める温室効果ガス削減目標の達成						
(7) 事業概要	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画」「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」において、平成32年度(2020年度)までに地域の温室効果ガス排出量を平成2年度(1990年度)比25%以上削減するという目標を掲げています。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めます。本市が事務局を務めています。</p>							
(8) H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	0	0	0	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0
財源計(C+D)		0	0	0	0	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	会議開催	指標内容	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:回)	2.00	1.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関によるワーキンググループを開催しました。平成28年度は、大阪大学工学研究科の施設見学も実施しました。			目標	大学・研究機関における省エネルギーの推進を促すことです。	
	②	成果内容	それぞれの事業活動に共通する課題に取り組んでもらうために、他大学・機関の効果的な取組を参考にするなど、情報交換の場として活用してもらっています。			達成状況	ワーキンググループでの情報交換を参考にし、各大学で取り組みを進めていただいている状況です。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本市の年間エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量は増大しています。目標達成のためには、今後もさらなる省エネルギーの推進が必要です。引き続き、情報交換の場や有効な情報の提供を継続して進めていきます。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	大学省エネルギーワーキング事務事業	事業区分	その他
事務事業番号	01487				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01487
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本市は、5大学1研究機関が立地する国内有数のアカデミックな都市であり、大学及び研究機関は事業者として温室効果ガスの排出量も大きいことから、他市以上に大学と行政が連携した環境まちづくりが必要とされている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では、「吹田市第2次環境基本計画」「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」において、平成32年度(2020年度)までに市域の温室効果ガス排出量を平成2年度(1990年度)比25%以上削減するという目標を掲げています。この目標を達成するため、温室効果ガスの多量排出事業者である市内の大学・研究機関によるワーキンググループを組織し、連携して、各事業所での省エネルギー及び温室効果ガス排出量の削減を進めます。本市が事務局を務めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、平成28年(2016年)には米中に続き我が国でも批准されました。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としています。今後は、国際的にも国内的にも、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にあります。



## 事務事業評価調書

事務事業名	地球温暖化対策新実行計画管理運用事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正 内容	吹田市地球温暖化対策新実行計画の改訂											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、吹田市環境基本計画、吹田市地球温暖化対策新実行計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市、市民及び事業者											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市域の年間温室効果ガス排出量の削減												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地球温暖化の防止												
(7) 事業概要	平成27年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)に基づき、市民に対する地球温暖化問題の啓発、事業者に対する環境まちづくりの誘導等を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	594	591	40							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	2.00	2.00							
		総額(B)	千円	0	0	16,340	15,800							
	総事業費(A+B)		0	0	16,934	16,391		8,092						
	特定財源(C)		0	0	0	0		0						
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		0	0	16,934	16,391		8,092						
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		0	0	16,934	16,391		8,092					
財源計(C+D)		0	0	16,934	16,391		8,092							
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
(2) 成果指標	①	指標内容	市域の年間温室効果ガス排出量	目標値	(単位:千t-CO2)	1,315.00	1,315.00	1,315.00
			実績値	(単位:千t-CO2)	1,884.00	2,232.00		
		達成度(%)		143.3	169.7			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.26		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.26		
		達成度(%)		0.00	0.04			
②	指標内容	市域の太陽光発電システム設備容量	目標値	(単位:千kW)	22,000.00	22,000.00	22,000.00	
		実績値	(単位:千kW)	11,719.00	14,040.00			
	達成度(%)		53.3	63.8				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.04			
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.04			
	達成度(%)		0.00	0.04				
(3) が困難な場合	①	活動内容	市民や事業者に対して地球温暖化問題の啓発を行っている。平成28年度は学生と協働して子育てサロンやイベント等での啓発の取組に力を入れた。		目標	市域の年間温室効果ガスの削減。		
	②	成果内容			達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、平成28年(2016年)には米中に続き我が国でも批准されました。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としています。今後は、国際的にも国内的にも、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にあります。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	地球温暖化対策新実行計画管理運用事業	事業区分	その他
事務事業番号	01610				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01610
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に策定した吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)に基づき、市民に対する地球温暖化問題の啓発、事業者に対する環境まちづくりの誘導を行った。 平成28年度は、特に市民・学生と協働した啓発の取組に力を入れた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年(2015年)にパリで開催された気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、新たな法的枠組みとなる「パリ協定」が採択され、平成28年(2016年)には米中に続き我が国でも批准されました。我が国は、温室効果ガス排出量を平成42年度(2030年度)に平成25年度(2013年)比で26.0%削減することを目標としています。今後は、国際的にも国内的にも、平成42年度(2030年度)目標の達成に向けた取組が強く求められる状況にあります。

## 事務事業評価調書

事務事業名	森林保全事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等	森林法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり											
	節	02												
	細節	10												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
		範囲等	市内の風致保安林											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市町村森林整備計画の策定と風致保安林の保全整備												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健全な森林の保全												
(7) 事業概要	森林法に基づいて大阪府が策定する地域森林計画において、市内3か所の森林が風致保安林に指定されている。この風致保安林に対して、5年ごとに10年を1期とする市町村森林整備計画を策定する。また、病虫害による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の積極的な保全整備に努める。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	12	大事業	03	中事業	07	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	2,179	1,082	1,882							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	0	0	2,452	2,370							
	総事業費(A+B)		0	0	4,631	3,452	7,519							
	特定財源(C)		0	0	1,410	551	1,411							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	1,410	551	1,411						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	3,221	2,901	6,108							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		0	0	3,221	2,901	6,108								
財源計(C+D)		0	0	4,631	3,452	7,519								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 大阪府森林組合三島支店											
			②											
		③												
	主な委託内容		森林病虫害等防除業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	① 活動内容	ナラ枯れの被害が発生している風致保安林に、伐倒くん蒸及び樹幹注入処理を実施した。			目標	健全な森林の保全	
	② 成果内容	伐倒くん蒸処理 20m3 樹幹注入処理 732孔			達成状況	森林に対する病害虫防除事業の効果はただちに表れるものではなく、継続的な調査と防除を実施する必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	本市の貴重な緑を守るため、法に基づき今後も実施していく必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	森林保全事業	事業区分	その他
事務事業番号	01611				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境政策室	事務事業番号	01611
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>森林法に基づいて大阪府が策定する地域森林計画において、市内3か所の森林が風致保安林に指定されている。この風致保安林に対して、5年ごとに10年を1期とする市町村森林整備計画を策定する。また、病害虫による枯死を防ぐための防除措置を講じるなど、風致保安林の積極的な保全整備に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

森林病害虫等の防除措置には、国庫補助(1/2)と府補助(1/4)が交付される。



## 事務事業評価調書

事務事業名	一般廃棄物処理基本計画見直し事業				
担当部名	環境部	室課名	環境政策室	室課長名	佐藤 享

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	一般廃棄物の減量等に関する事項											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康で快適な生活環境の確保												
(7) 事業概要	吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び規則に基づき、市長の諮問に応じ、一般廃棄物の減量等に関する事項について調査審議を行い、答申するものです。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	01	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	7,586	7,394	0							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	1.20	1.20	0.00						
		総額(B)	千円	0	0	9,804	9,480	0						
	総事業費(A+B)		0	0	17,390	16,874	0							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		0	0	17,390	16,874	0						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	17,390	16,874	0								
財源計(C+D)		0	0	17,390	16,874	0								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	開催回数	目標値	(単位:回)	0.00	3.00	0.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	4.00		
			達成度(%)		0.0	133.3		
	目標値の積算方法	開催見込み回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1,848.50		
				一般財源(単位:千円)	0.00	1,848.50		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:なし)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:なし)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	なし	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	リサイクル推進の一環としてペットボトルの再資源化拡充			達成状況	ストックヤードの整備を完成	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本審議会は5年毎の、一般廃棄物処理基本計画の見直し時に開催しているため、より効率的な運営を行えるよう審議会のあり方を検討します。					

事務事業分析シート

所属名	環境政策室	事業名	一般廃棄物処理基本計画見直し事業	事業区分	その他
事務事業番号	01612				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境政策室	事務事業番号	01612
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一般廃棄物の減量・再資源化に関する施策について審議する場を確保する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--